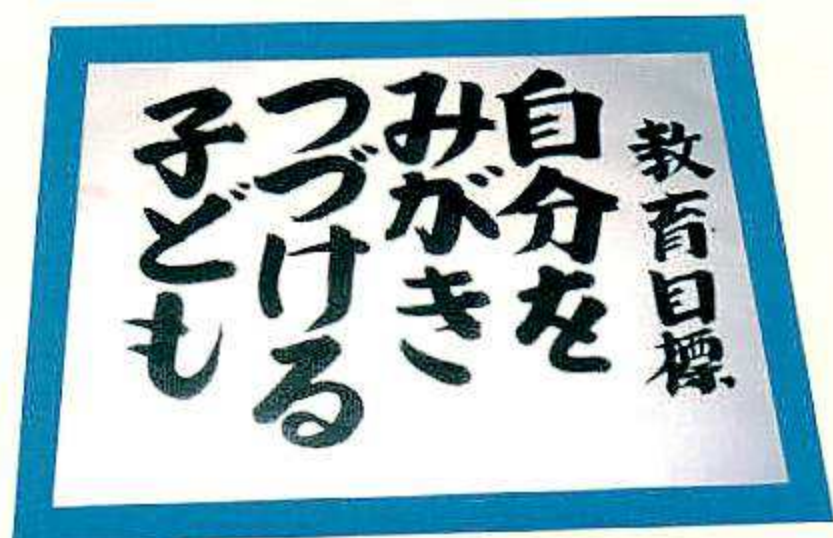


夢にむかって

開校 20 年記念誌 2009



練馬区立光が丘第六小学校



校章の由来



光が丘第六小学校の校章は、開校当時の図工専科江村真一先生が、太陽の光を一杯うけて大きく、たくましく成長してもらいたいという願いをこめて、光とけやきの葉をイメージして作られました。

太陽の光は、一人ひとり平等に降り注ぎ、生き物や人間が生活していくためになくてはならない大切なものの一つであり、希望のシンボルです。

けやきは、春になると若葉が一斉に力強く、芽吹き、ぐんぐん成長して高い大樹になります。

校歌

新山賢治 作詞
笹倉重男 作曲

一、優しい光と 緑の風と

小鳥が空で 朝を告げる

さあ 出発だ

大地の息吹を 大きく吸って

光が丘第六小学校

二、遠い未来の 大きな希望

ゆったり見つめ 胸を張ろう

さあ 出発だ

夢に向かって 一歩ずつ歩こう

光が丘第六小学校

開校 20 年を迎え

新たなる“夢に向かって”



校長 嶋 英治

平成2年4月1日に練馬区で69番目の小学校として開校した光が丘第六小学校も、今年で開校20年の節目を迎えることができました。開校以来、ここまでの発展にご支援・ご尽力をくださいました全ての皆様に、心よりお礼申し上げます。

本校は開校以来、教育目標「自分をみがきつづける子ども」の下、オープンスペースの教室環境を生かしながら、新しい学力観に立った自己教育力の育成、そして、共に生きる力をもった心豊かな子どもの育成と、時代や社会の要請を受け止めながら充実した教育活動を展開してまいりました。それは、教育改革の奔流の中にあっても常に学校教育の不易を見つめ問いながら学校改善に努め、集団の中でこそ「個」も豊かに伸びる学校教育、「一人一人がみんなの力で一緒に伸びていく学校」の実現を追究してきた20年間であったと振り返ることができます。その理念は、日常の学習活動はもちろんのこと、運動会や集会活動、縦割り班活動、幼・保小交流活動、6年生を送る集い等々の行事に現れ、さらには、大人側の活発なPTA活動や地域活動としても実を結んでいたように思われます。これも地域や保護者の皆様の深いご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

学校は開校20年をもって閉校となりますが、保護者・地域と共に歩んできた光が丘第六小学校の教育が、子どもたちの心の中で、また、地域の中で、新たな希望や夢となって生き続けることを願ってやみません。

もくじ

教育目標・校旗・校歌	
二十年によせて（学校長）	1
お祝いのことば	2
光が丘のうつりかわり	4
光六小のあゆみ	6
全員集合	8
光六小の一日	10
光六小の一年	12
特色ある活動	16
児童のことば	17
光が丘六小PTA	31
開校二十年を祝う会実行委員	32
教職員	



練馬区立光が丘第六小学開校 20 年に寄せて

練馬区長 志村 豊志郎

練馬区立光が丘第六小学校が開校 20 年を迎えましたことを、心よりお喜び申し上げます。

本校は、平成 2 年 4 月に、12 クラス 390 名で開校いたしました。当時は、みどり豊かな公園と多様な文化施設に囲まれた新しいまち「光が丘」が誕生した時期でありました。

この恵まれた環境のなか、本校は、教育目標として「自分をみがきつづける子ども」を掲げ、これまで 1,559 名の心身ともに健康で人間性豊かな子どもたちを送り出してまいりました。これは、歴代校長先生をはじめ教職員の皆さまの不断の努力と、保護者や光が丘地区住民組織連合協議会をはじめとする地域の皆さまの児童への愛情の賜物であると、心から敬意を表し、感謝申し上げます次第です。

結びに当たりまして、本校児童、卒業生ならびに教職員の皆さま方のますますのご活躍と、関係者の皆さまのご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。



開校 20 年を祝して

練馬区教育委員会教育長 園部 俊介

練馬区立光が丘第六小学校、開校 20 年、心よりお祝い申し上げます。

本校は、平成 2 年 4 月区内小学校 69 番目、最後の学校として開校しました。

平成 2 年当時から新学習指導要領で新設された生活科の先行研究に取り組むなど、教育目標「自分をみがきつづける子ども」を掲げ、意欲的に研究活動を続けてこられています。

近年は、音楽活動を中心とした豊かな感性をはぐくむ教育に力を入れ、昨年度、本校合唱部が NHK 全国学校音楽コンクール東京都大会で優良校に選ばれるなど、子供たちの情操が確実に養われてきています。

また、地域の幼稚園児との触れ合いや地域人材を招聘して行う人形劇など、地域資源を積極的に活用した教育活動を実施し、本校の特色の一つになっています。

このように本校がこれまで培ってこられた伝統と歴史、特色が色褪せることなく、新校に引き継がれることを期待いたします。

今日まで本校の発展にご尽力をいただいた歴代校長をはじめ、教職員、PTA、地域の皆様方、卒業生の方々に感謝をいたしまして、お祝いの言葉といたします。



開校 20 年によせて

光六小開校 20 年を祝う会 実行委員長 八木 正承

光が丘第六小学校の開校 20 年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

光六小は、建設ラッシュがようやく終わりほぼ全ての地域で入居が完了した頃、光が丘で一番新しい学校として開校しました。独特のバルコニーやコンサートも出来るような昇降口前ホールを持つ光六小では、先生方の真摯で前向きなご指導により、子供たちは豊かで楽しい学校生活を送ることが出来ました。

一方、少子化の影響とはいえ、開校 20 年と同時に統合による廃校を余儀なくされるという現実にも直面しています。光六小で育った千数百の子供たちの母校が、建物はそのままに名前が違うということに戸惑いを隠せません。光六小の子供たちもそうでしょう。

来年四月から発足する「光が丘夏の雲小学校」が、母体となる光五小、光六小の歴史、教育方針、特色を尊重していただき、更なる発展を遂げられることをお祈りいたします。

この度の 20 年記念事業にあたっては、実行委員はもとより教職員、保護者、地域の皆様のご支援をいただきここまで来ることが出来ました。本当に有難うございました。



創立 20 年を祝して

初代校長 成田 秀和 先生

創立 20 年おめでとうございます。

突然の辞令をいただいたのが平成 2 年 3 月 24 日。それまではすぐ隣の田柄第三小学校で教頭をしており、ここでの 4 年間、私は変わりゆく光が丘の光景を日々目の当たりにしていました。砂ほこりの中から巨大な建物が姿を現し、それが光が丘第六小学校であることも知っていましたが、まさかそこに校長として着任するとは夢にも思いませんでした。開校まではほんの 2 週間ほどしかなく、辞令が下りた時は嬉しさよりも緊迫感の方が先に立ちました。しかし、幸いなことに保護者、地域の皆さまの理解と協力、教職員の知恵と努力のおかげで、何とか草創期を乗り切ることができました。いまだに私は、光が丘の町と光六小とは自分の第二の故郷のような気分です。ますますのご発展を祈念いたします。



新しい出発にむけて

第二代校長 東原 忠郎 先生

開校 20 年、おめでとうございます。

六小に学び輝かしい伝統を築いた子供たち、校歌制定をはじめ惜しみないご協力ご尽力下さった保護者・地域の方々、日夜研鑽に励み子供たちを導いて下さった先生方、皆さんののおかげで光が丘第六小学校は、無事きょうの日を迎えることができました。皆さん、ほんとうにありがとうございました。

とは言え、来年度から、これまで慣れ親しんだ校名・校歌・校章・校帽も変わるのですから一抹の淋しさを感じます。

でも、もう采は投げられたのです。潔く、晴れやかに新しい出発をしましょう。

練馬で初めてのオープンスペースの二校がいっしょになるのです。二校の叡智を結集し、ユニークな教育を創造・実践し、全都、いや日本中に発信する学校に発展されることを切望して、お祝いの言葉とします。



開校 20 年おめでとう

P T A 会長 濱本日出雄

娘が光六小に通い始めて 3 年になりました。

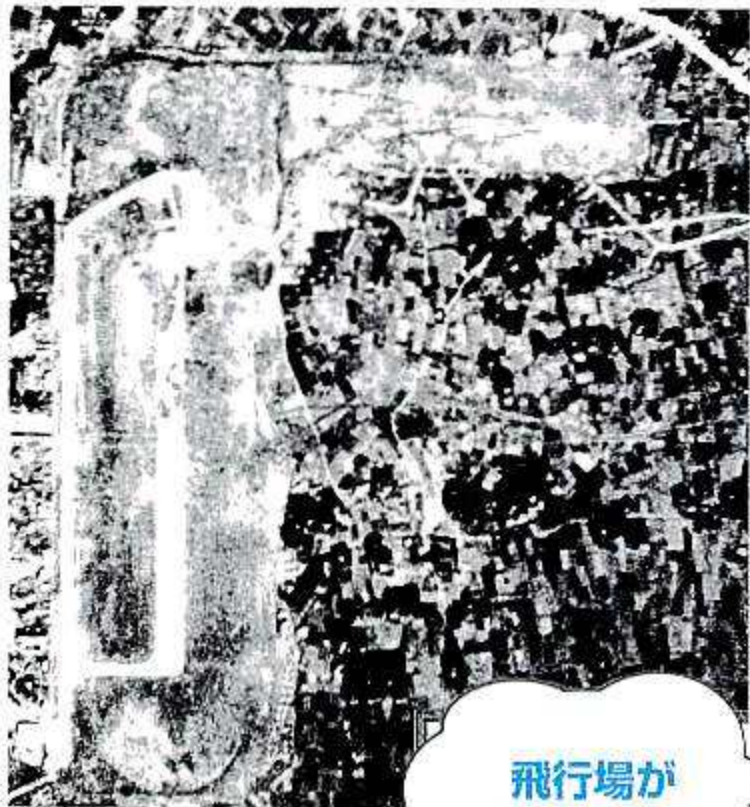
その間、色々な出会いがありました。

校長先生をはじめ、個性あふれる先生方、にこやかな事務の方、気さくな主事さん、頼りになる父親の会の先輩お父さん達、そして多くの保護者の方々。また P T A に役員として携わるようになってからは、多くの地域の方々にも出会いました。

私はこれらの出会いを通して、子供たちの健やかな成長や、安心・安全に暮らせる地域づくりのために、色々な方が様々な努力をしてくださっていることを初めて知りました。

皆さま方のおかげで開校 20 年を迎えることができる光六小です。光六小の子供たちのために、これからもたくさんの人との出会いを大切に、微力ながら協力させていただきたいと思います。

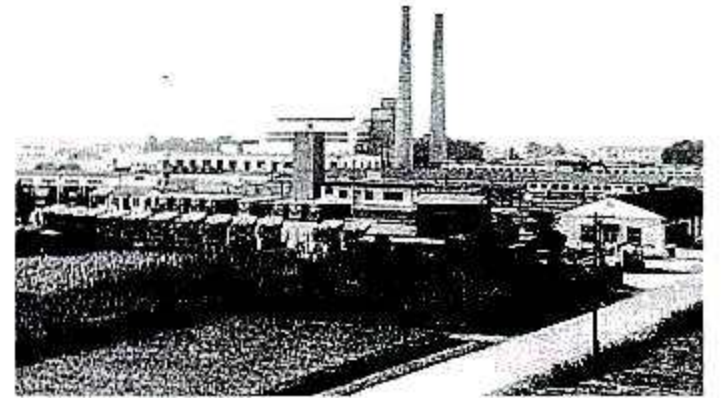
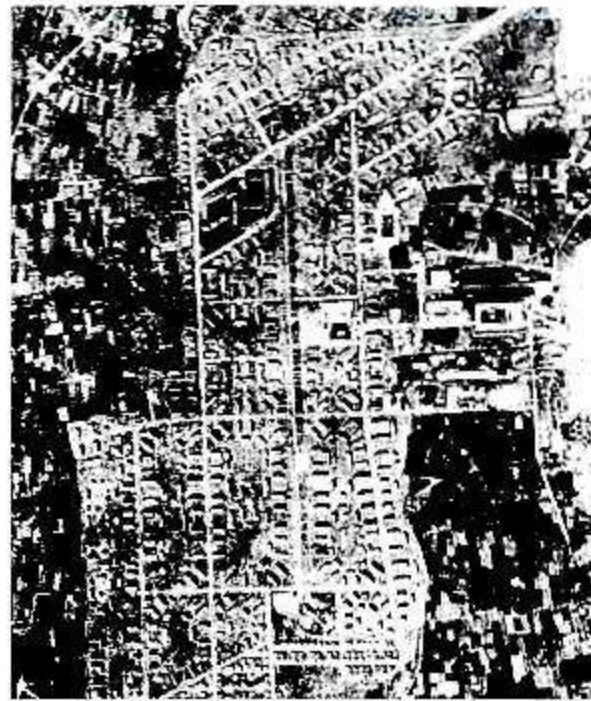
最後になりましたが、開校 20 年記念行事にご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。



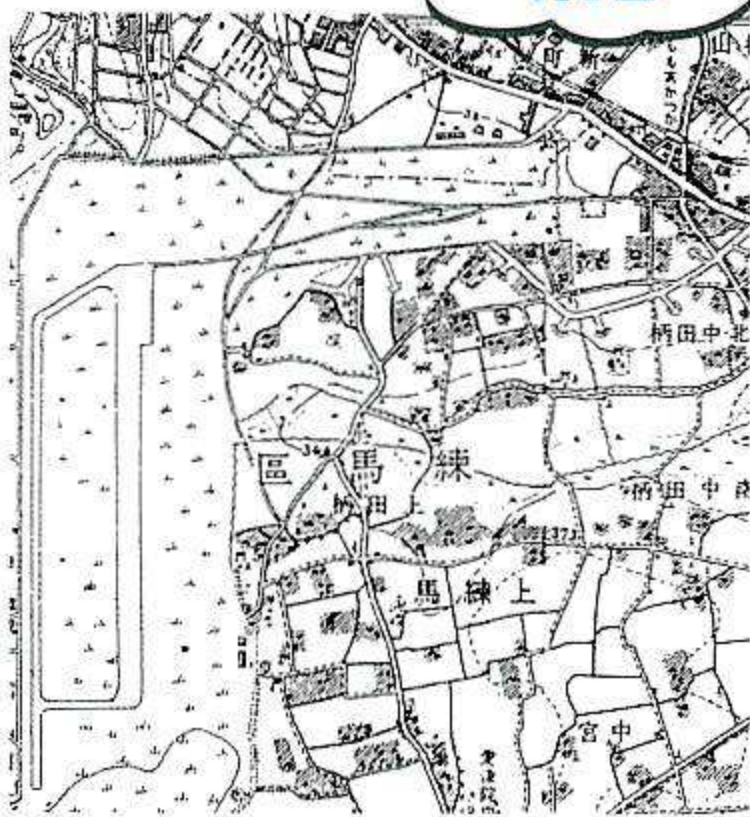
▲ 昭和 19 年

飛行場が
あったころの
光が丘

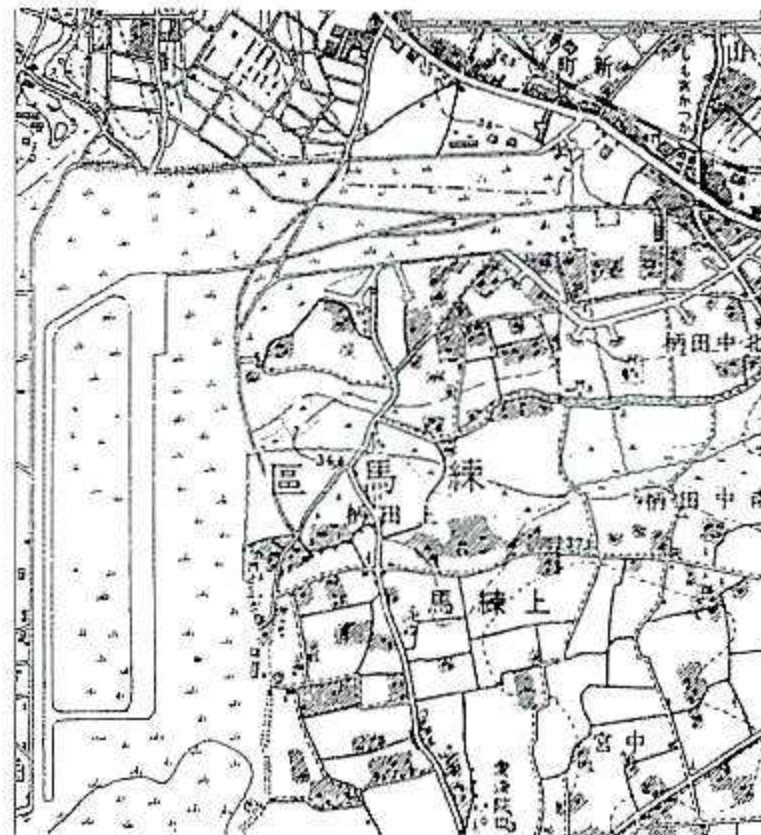
グラントハイツだったころの光が丘



▲ グラントハイツ (昭和 31 年)



▲ 昭和 22 年 (1947 年)



▲ 昭和 40 年 (1965 年)

地図と航空写真
をくらべてみよう
よくなっているね



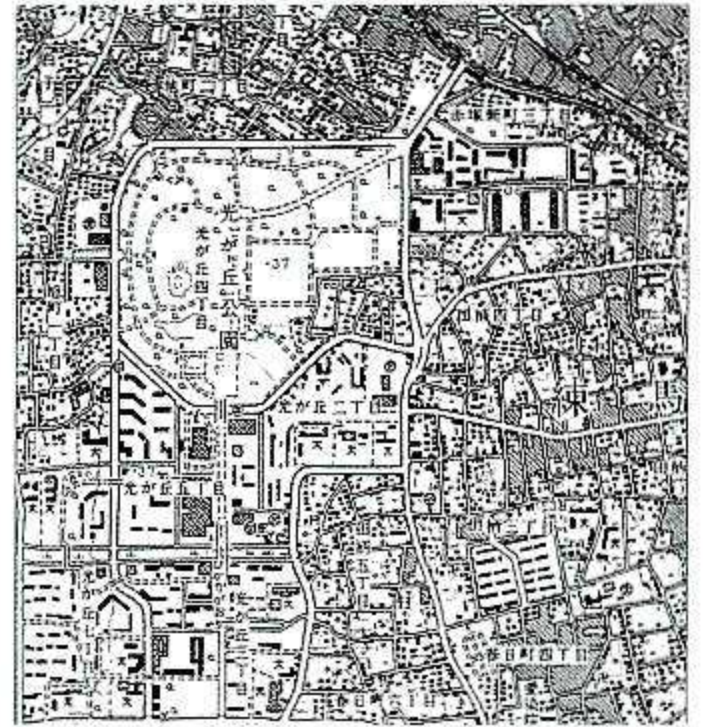
昭

和

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|--------|-------------|------------------------------|-----------------|--------------|----------------|------------------------|------------------|--------------|---------------|--------------|------------------|--------------|------------|----------|
| 16 | 18 | 20 | 22 | 23 | 44 | 46 | 47 | 48 | 52 | 54 | 56 | 58 | 59 | 60 | 61 | |
| 戦争がはじまる | 陸軍成増飛行場ができる | 戦争が終わる | 板橋区から練馬区になる | グラントハイツができる
(アメリカ軍の家族の住宅) | グラントハイツ返還運動が起こる | 「光が丘」と名付けられる | グラントハイツの返還が決まる | グラントハイツあと土地利用の話し合いが始まる | グラントハイツ日本に返される | 光が丘公園の建設が始まる | あと土地利用の計画が始まる | 光が丘公園の一部ができる | 光が丘パークタウンの入居が始まる | 野球競技場の利用が始まる | 清掃工場が動き始める | バスが通り始める |
| | | | | | | | | | 夏の雲公園・四季の香公園ができる | | | | | | 春の風公園ができる | |

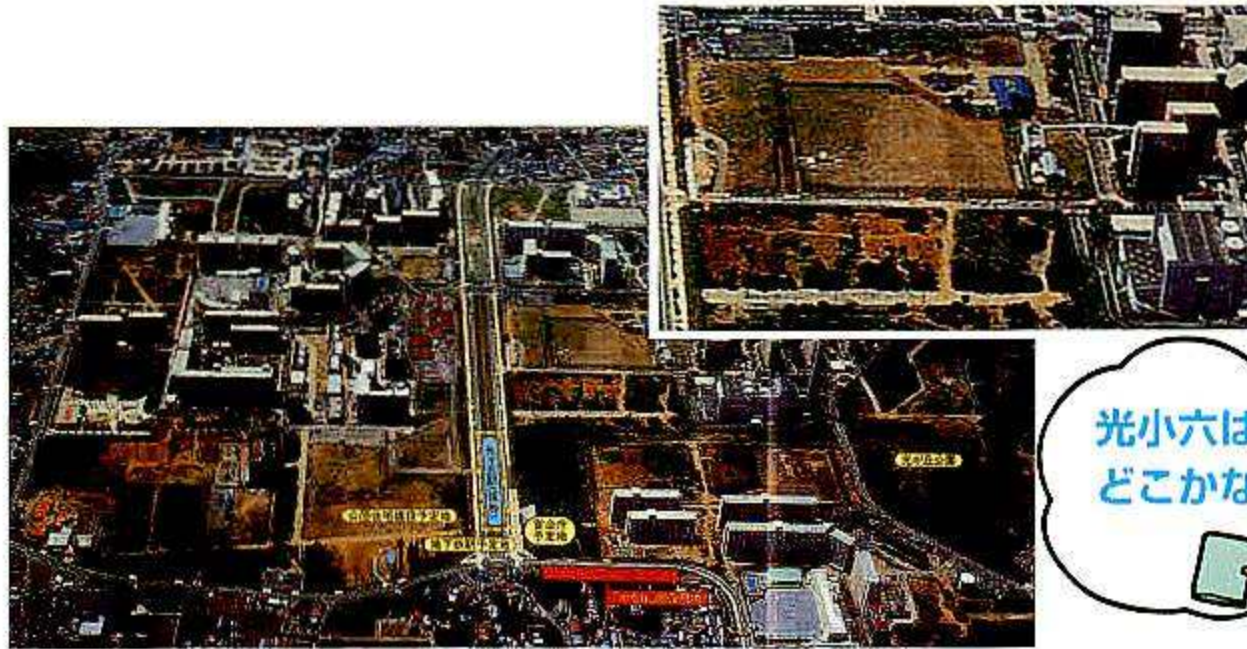
光が丘の移りかわり

まちができあがった光が丘



▲ 平成 5 年 (1933 年)

◀ 南東から見た光が丘全景 (平成 9 年)



▲ 建設中の光が丘 (下が東側)



▲ 月見大橋から見た工事中の大通り



▲ 月見大橋から見た現在の大通り (平成 21 年 7 月)

平成

62

光が丘総合病院ができる
(現日大病院)

63

秋の陽公園できる
花と緑の相談所ができる
あかねぐも公園ができる

1

光六小工事始まる (4月)
光が丘IMAオープン

2

光六小開校 (4月)
光が丘消防署できる

3

光が丘郵便局できる
光が丘警察署できる

4

都営12号線開通
光が丘住宅全体完成

6

光が丘地区区民館できる
光が丘体育館できる

7

光が丘図書館できる

9

都営12号線新宿までのびる

12

都営12号線大江戸線にかわる



▲ パソコン室完成（平成 12 年 2 月）



▲ 離任式



▲ 10 周年記念式典



▲ 6 年生を送る集い



▲ 開校 20 年記念運動会



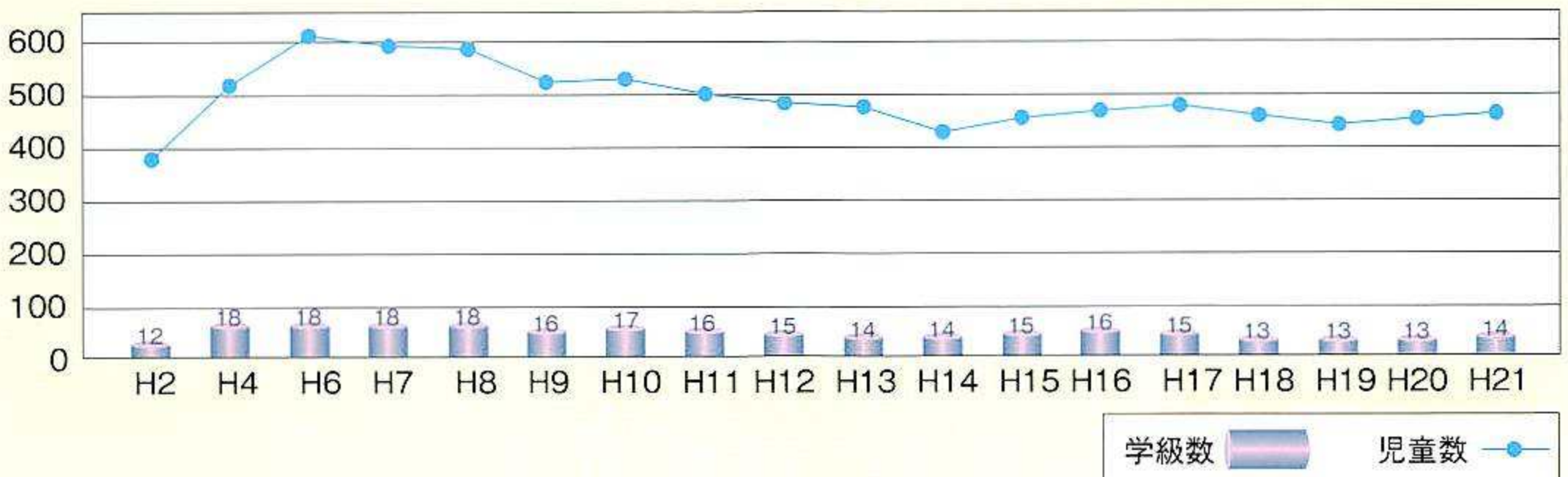
▲ ひかるくルーム（平成 16 年 5 月）

全校児童のうつり代わり

児童数と学級数の推移

平成 21 年 5 月現在

	H2	H4	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
児童数	390	517	601	598	594	530	539	500	488	471	433	457	468	470	463	445	453	468
学級数	12	18	18	18	18	16	17	16	15	14	14	15	16	15	13	13	13	14



光六小の一日



登校



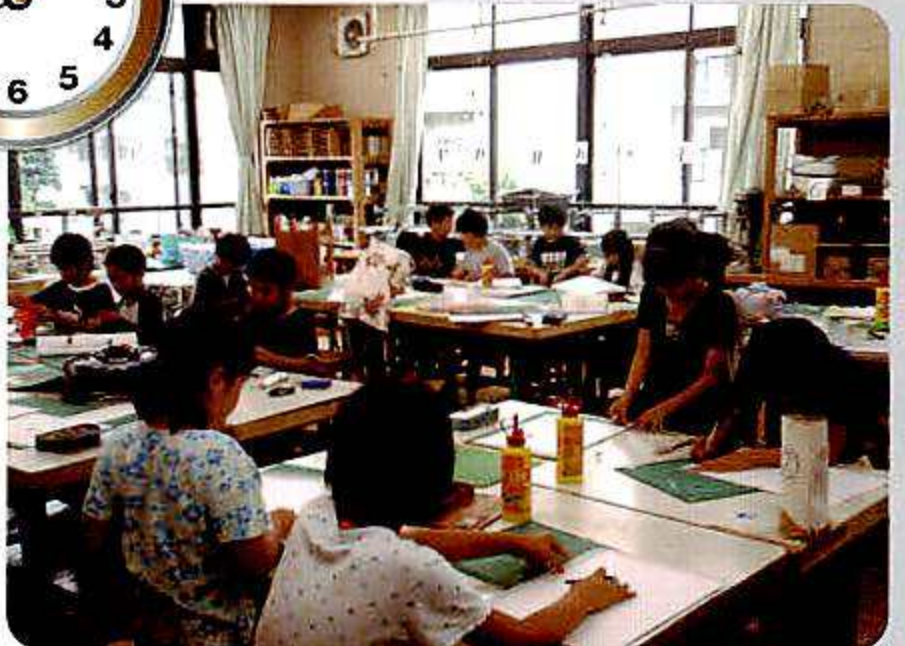
授業(道徳)



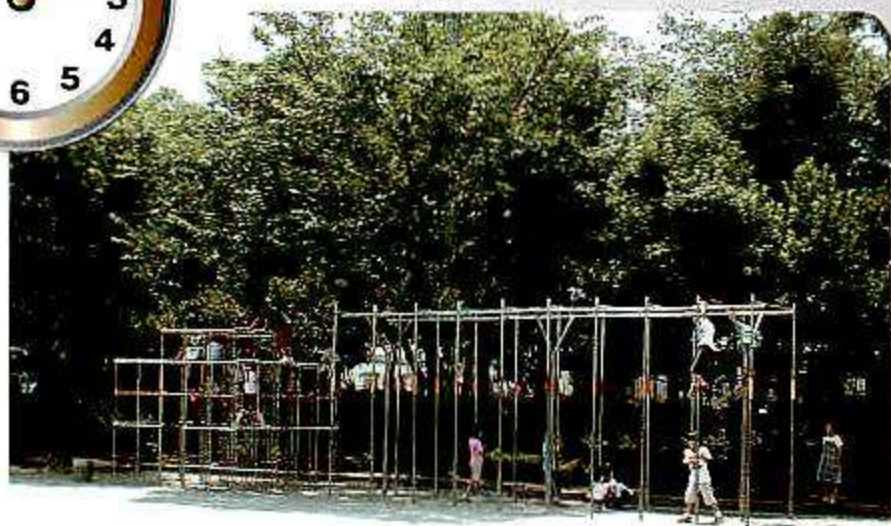
全校朝会



中休み



授業(図工)



昼 休 み



授 業 (音 楽)



清 掃



下 校



給 食



夏祭



1・2年生遠足



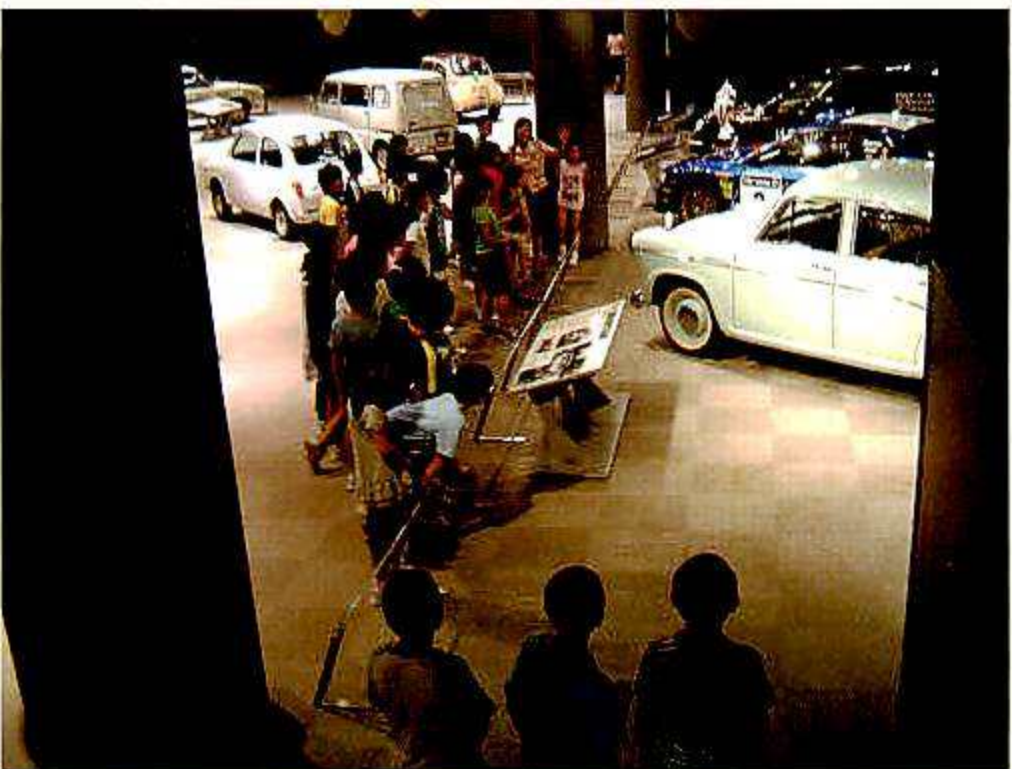
6年生移動教室



水泳指導



連合水泳記録会

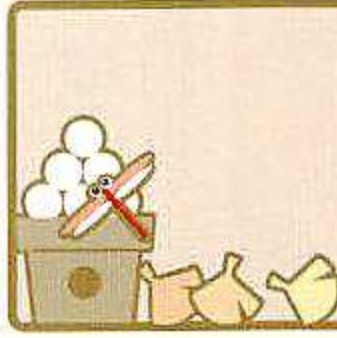


5年生社会科見学



音楽鑑賞教室

秋



展覧会



展覧会



学芸会



5年生移動教室



連合音楽会



いも掘り



なわとび集会



練馬大根の収かく



人形劇教室



6年生を送るつどい



お別れスポーツ大会



卒業式

光六小の特色



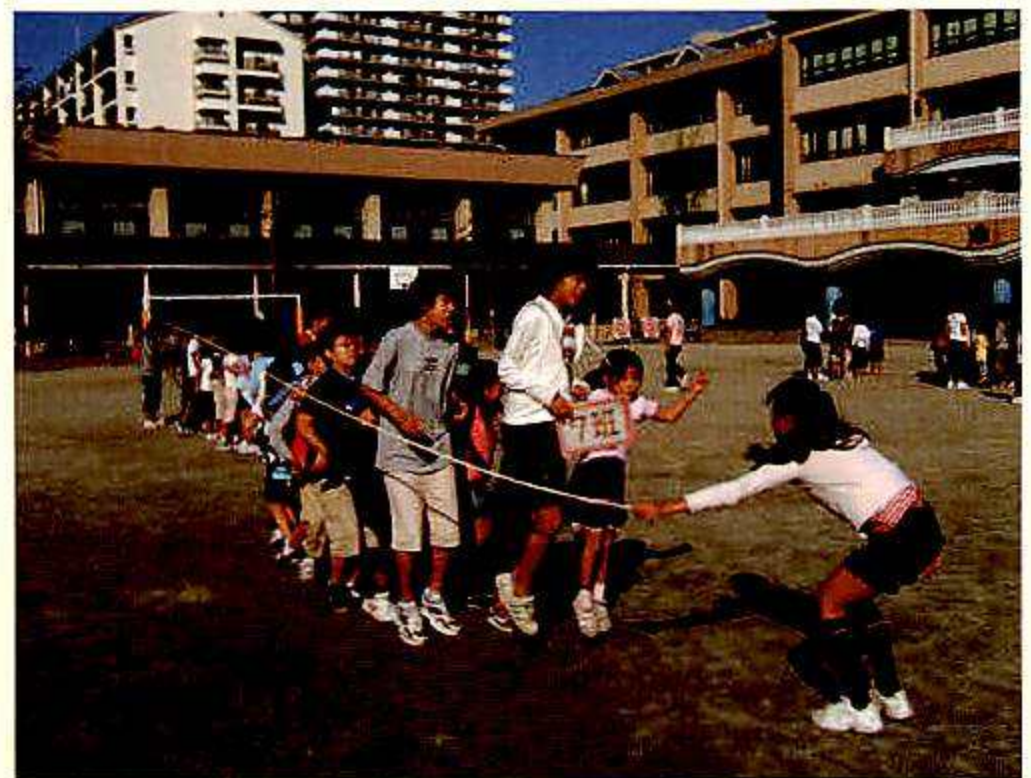
セーフティー教室



幼稚園保育園交流活動



ボランティア清掃



たてわり班遊び



音楽集会



ミニコンサート